

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第6部門第1区分
【発行日】平成18年1月5日(2006.1.5)

【公表番号】特表2005-512077(P2005-512077A)
【公表日】平成17年4月28日(2005.4.28)
【年通号数】公開・登録公報2005-017
【出願番号】特願2003-551482(P2003-551482)
【国際特許分類】

G 0 1 C 19/66 (2006.01)

【F I】

G 0 1 C 19/66

【手続補正書】

【提出日】平成17年11月7日(2005.11.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

電極封止部を保護するためにリングレーザジャイロスコープにバイアスをかけるためのシステムであって、

フレームであって、複数の電極は前記フレームに装着され、電場はジャイロスコープの動作中に前記複数の電極間に創出され、かつ、前記電場は前記フレーム内のイオンを最低電位に向けて移動させる、フレームと、

各々が前記複数の電極の1つと前記フレームとの間に位置する複数の封止部と、

正の電位を供給するための電源であって、アース側および非アース側を有する電源と、

前記電源の前記非アース側に電氣的に位置する電流制御器と、

前記最低電位となるために電氣的に接続される搭載構造体と、

を組み合わせる含むシステム。

【請求項2】

請求項1に記載のシステムであって、前記イオンは、前記搭載構造体に移動し、前記複数の電極への移動は、最小に抑えられる、システム。

【請求項3】

請求項1に記載のシステムであって、前記複数の封止部の各々は、インジウム、スズ、鉛、インジウム合金、スズ合金、および、鉛合金からなるグループから選択される材料で構成される、システム。

【請求項4】

請求項1に記載のシステムであって、前記電源は、実質的に+600ボルトを供給する、システム。

【請求項5】

電極封止部を保護するためにリングレーザジャイロスコープにバイアスをかけるための方法であって、該方法は、

搭載構造体および複数の電極を設けるステップを含み、

前記搭載構造体は、最低電位にある、方法。

【請求項6】

請求項5に記載の方法であって、イオンは、前記搭載構造体に移動し、前記複数の電極への移動は、最小に抑えられる、方法。

【請求項 7】

請求項 5 に記載の方法であって、電源は、前記搭載構造体を前記最低電位に置くために接続される正電圧を供給する、方法。

【請求項 8】

請求項 7 に記載の方法であって、前記電源は、+ 6 0 0 ボルトを供給する、方法。

【請求項 9】

請求項 5 に記載の方法であって、複数の封止部の各々は、インジウム、スズ、鉛、インジウム合金、スズ合金、および、鉛合金からなるグループから選択される材料で構成される、方法。

【請求項 10】

継続的な用途の応用例において電極封止部を保護するためにリングレーザジャイロスコープにバイアスをかけるためのシステムであって、

Z e r o d u r で構成されるフレームであって、複数の電極は前記フレームに装着され、前記複数の電極は少なくとも 1 つのカソードおよび少なくとも 1 つのアノードを含み、電場は前記ジャイロスコープの動作中に前記複数の電極間に創出され、かつ、前記電場は前記フレーム内のイオンを最低電位に向けて移動させる、フレームと、

各々が前記複数の電極の 1 つと前記フレームとの間に位置するインジウムから構成される複数の封止部と、

実質的に + 6 0 0 ボルトの正電位を供給するための電源であって、アース側および非アース側を有する電源と、

前記電源の前記非アース側に電氣的に位置する電流制御器と、

前記最低電位となるために電氣的に接続される搭載構造体であって、イオンは前記搭載構造体に移動し、前記複数の電極への移動は最小に抑えられ、前記搭載構造体はイオンの蓄積があっても実質的に動作可能であり、かつ、前記搭載構造体はディザモータである、搭載構造体と、

を組み合わせる含むシステム。